

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名: GS-1/PVE, GS-2/PVE, GS-3/PVE, GS-101/PVE

種類: ポリビニルエーテルベースの潤滑油を使用する空調・冷凍システム用蛍光剤

用途: リーク検知

製造者: Spectronics Corporation, 956 Brush Hollow Road, Westbury, NY 11590, 800-274-8888.

MSDS作成者: (輸入元)森村商事株式会社 化成品事業部 担当: 天野水樹

東京都港区虎ノ門1-3-1 TEL:03-3502-6457 FAX:03-3502-6437

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

化学式又は構造式: 有機化合物

製品名	成分/化学名	重量%	CAS Number	官報公示整理番号
GS-1/PVE	蛍光染料	5-10	非公開(※1)	非公開
	潤滑油	90-95	非公開(※2)	非公開
GS-2/PVE	蛍光染料	10-15	非公開(※1)	非公開
	潤滑油	85-90	非公開(※2)	非公開
GS-3/PVE	蛍光染料	15-20	非公開(※1)	非公開
	潤滑油	80-85	非公開(※2)	非公開
GS-101/PVE	蛍光染料	15-20	非公開(※1)	非公開
	潤滑油	80-85	非公開(※2)	非公開

※1 蛍光染料は米国ニュージャージー州商業秘密登録(#80100312-5004P)してあります。

※2 潤滑油は米国ニュージャージー州商業秘密登録(#80100312-5002P)してあります。

労働安全衛生法: 非該当

化学物質管理促進法(PRTR法): 非該当

化学物質審査規制法(化審法): 非該当

毒物劇物取締法: 非該当

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性

有害性: 目、肌、呼吸器官に炎症を引き起こす可能性有り。

環境影響: 有用な情報無し

物理的及び化学的危険性: 燃焼や分解の時、刺激性/毒性の蒸気を発生する可能性有り。

分類の名称: 分類基準に該当しない。

4. 応急措置

吸入した場合: 新鮮な空気を摂取できる場所へ移動させる。毛布等で保温し安静に保ちすぐに医師の診断を受ける。呼吸しない場合には人工呼吸する事。

皮膚へ付着した場合: 付着部分を石鹸と水で洗浄。もし炎症がひどくなるようならば医師の診断を受ける。

目に入った場合: 最低15分間水で目を洗浄。もし炎症がひどくなるようならば医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合: すぐに医師を呼ぶこと。無理に吐かせずに医師の指示に従い嘔吐・吐出させる事。

5. 火災時の措置

消火剤: 小火災には乾燥化学用品、二酸化炭素、ハロン、水スプレーまたはアルコール泡を使用のこと。

大火災には水スプレー、霧、またはアルコール泡を使用のこと。

使用してはならない消化剤: 特に無し

火災時の特定危険有害性: 燃焼や分解の時、刺激性/毒性の蒸気を発生する可能性有り。

消火を行なう者の保護: 消火作業の際には完全防護・防火服、循環式酸素呼吸器などを着用のこと。

6. 漏出時の措置

少量の場合、粘土・土または一般的に利用可能な吸収剤などの吸収剤に含ませる。シャベルで当該染料を吸収材と共にすくい、処分のためにドラムへ回収する。作業の際には必ず防護具を使用のこと。

大量の場合、盛り土で囲い流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

廃棄: 廃棄物処理法に従い焼却或いは埋立て処理すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:

- ・ 常温、換気の良い場所で取り扱う。
- ・ 目に入ると軽度の炎症を引き起こす可能性があります。保護メガネを使用するなどして目に入らないようにする。
- ・ 皮膚に長時間触れると炎症を引き起こす可能性があります。保護手袋等を使用するなど皮膚に触れないようにする。
- ・ ミスト又は蒸気を吸入すると気分が悪くなる事があります。取扱う際には呼吸器具を使用する等ミスト又は蒸気を吸入しないようにする。
- ・ 酸化剤との接触を避ける。
- ・ 炎、火災または高温体との接近を避けるとともにみだりに蒸気を発生させないようにする。
- ・ 取扱いの後十分に洗浄すること。

保管:

涼しく、乾燥した換気の十分できる場所に保管し、熱・点火源及び直射日光を避けること。類の異なる危険物は同一の貯蔵所において貯蔵しない事。いつも容器のフタをきつく閉めること。高温多湿の場所に保管することは避ける。

どんな目的であっても容器を再利用しないこと。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：必要に応じて局所排気装置を設ける。洗浄・洗眼設備を設ける。

管理濃度：空気中のオイルミスト露出限界：潤滑油

ACGIH: 5mg/m³, 8hr ACGIH: 10mg/m³ OSHA PEL: 5 mg/m³, 8hr

適切な換気を行なうことにより露出限界(上記PELとTLVを参照)以下になるよう空気濃度を維持する事。

目の保護：保護ゴーグルを着用すること。

皮膚の保護：適切な保護服やグローブを着用すること。

呼吸器官の保護：蒸気/ミストの吸入を避けること。必要に応じてマスクを着用する。

その他：必要に応じて導電性安全靴を着用する。

9. 物理的及び化学的特性

外観：琥珀色 臭気：軽い石油臭 物理状態：液体 蒸気圧68F (20℃) : 0.01mmHg@20℃

蒸気比重 (空気=1) : >1 ボリューム (%) による揮発率 : 0

比重(水=1) : 0.89 水に対する溶解度 : 不溶

引火点 : 204℃ 発火点 : 測定データ無し

注意 : ここで記載された物理的データは一般的な値であり、仕様として解釈されるべきではない。

10. 安定性及び反応性

化学的安定性：通常の手扱い条件(常温・常圧)の下で安定。

可燃性：あり

発火性(自然発火性・水との反応性)：自然発火性、水との反応性なし

避けるべき条件：酸化剤との接触を避ける。

危険な分解生成物：燃焼することで一酸化炭素や二酸化炭素を生成する可能性有り。

11. 有害性情報

急性毒性：

目への接触：軽い炎症を引き起こす可能性有り。

肌への接触：長時間、又は連続した接触により炎症を引き起こす可能性有り。

吸入(呼吸)：蒸気の吸入により気道上部に炎症を引き起こす場合がある。

摂取(飲込)：消化器官に炎症を引き起こす可能性有り。

既存病状の深刻化：過去の記録を遡っても当該製による悪影響を受ける可能性がある既存病状は一切確認されていない。

皮膚腐食性：知見なし

刺激性：知見なし

発ガン性:	ACGIH	IARC	NTP	OSHA
鉱物油	No	No	No	No
蛍光染料	No	No	No	No

感作性：知見なし

変異原性：知見なし

生殖毒性：知見なし

催奇形性：知見なし

1 2. 環境影響情報

生体蓄積性、生態魚毒性等現在迄のところ有用な情報無し。

1 3. 廃棄上の注意

廃棄：廃棄物処理法等に従って廃棄すること。消防法第四類第三石油類非水溶性として取り扱うこと。

特別な指示：指導が必要であるかどうか必ず適切な政府環境機関に連絡・確認すること。

1 4. 輸送上の注意

国連分類及び国連番号：該当しない。

運搬に際しては消防法危険物第四類第三石油類として扱い、容器に漏れないことを確認し、落下・損傷しないように注意する。

1 5. 適用法令

消防法	・ 第四類第三石油類
水質汚濁防止法	・ 油分排出規制(5 mg/L 許容濃度)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・ 産業廃棄物規制
化審法及び安衛法の既存化学物質名簿への登録	
労働安全衛生法	・ 通知対象物
海洋汚染防止法	・ 油分排出規制
下水道法	・ 鉱油類排出規制
化学物質管理促進法	・ 非該当

1 6. その他の情報

引用文献等：

- (1) 製品安全データシート作成指針（日本化学工業協会）
- (2) 「化学物質の自主的な管理の改善を目指して」（中小企業基盤整備機構）
- (3) 「化学物質審査規制法対応講習会テキスト」（中小企業基盤整備機構）
- (4) 化学物質総合情報提供システム（製品評価技術基盤機構）

記載内容：ここに記載されている情報は知りうる限りの情報に基づいて作成しておりますが万全ではありません。またいずれの情報もこれを保証するものではありません。色々危険について述べておりますが、危険の存在可能性のみを記載しているものであり補償の対象ではなく、安全の保証をするものではありません。注意事項は通常の手配を前提にしたものですので、化学品の適合性の最終決定責任者は使用者自らであることを理解し、用途に適した安全対策を講じた上で御利用願います。

－ MSDS の終了 －